おおてみち

第119号

令和４年（2022年）４月１日
滋賀県立安土城考古博物館

◎桑実寺縁起絵巻（近江八幡市桑實寺蔵）部分

令和4年度春季特別展　開館30周年記念

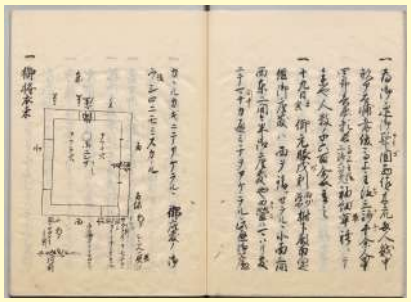
戦国時代の近江・京都

六角氏だってすごかった!!

□足利義輝画像（京都市真正極楽寺蔵）

六角高頼書状（草津市無量寿寺蔵）

△室町幕府奉行人連署禁制－金勝寺制札－（栗東市金勝寺蔵）



光源院殿御元服記（国立公文書館蔵）

令和4年 4月23日(土)–6月5日(日)

開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
休 館 日：5月9日(月)・16日(月)・23日(月)・30日(月)
入 館 料：大人900円(690円)／高大生640円(470円)／小中生420円(310円)／県内高齢者〈65歳以上〉460円(350円)
※（　）は20人以上の団体料金です。　※「信長の館」との共通券：大人1,190円／高大生720円／小中生430円／県内高齢者〈65歳以上〉850円

※必ずマスクを着用して下さい。発熱・カゼ症状のある方は来館をお断りしております。

主催：滋賀県立安土城考古博物館・京都新聞

近江風土記の丘
滋賀県立 安土城考古博物館
Shiga Prefectural Azuchi Castle Archaeological Museum

春季特別展

戦国期の京都・近江

―六角氏だってすごかった!!―

会期　4月23日(土)～6月5日(日)

戦国時代に南近江を支配していた六角氏は、残念ながら、力強く活躍する勢力というイメージはありません。ドラマや小説に登場するのは、上洛する織田信長軍と戦いもせず撤退する、六角承禎(じょうてい)くらいです。日本五大山城の一つである観音寺城を居城に、四百年の長きにわたり近江守護を務めた、近江源氏佐々木氏の惣領(そうりょう)家である六角氏の実力は、本当にその程度だったのでしょうか。

承禎は、現役の当主時代は義賢(よしかた)と名乗っています。実質の天下人である三好長慶や管領(かんれい)の細川晴元らと対等に渡り合い、京都を追われて流浪する第十三第将軍足利義輝を帰洛させたり、動乱の京都に軍を派遣することもありました。

その父定頼は幕府の陰の実力者で、政争で流浪する第十二代将軍義晴を、観音寺山中腹の桑実寺で庇護しました。重要文化財の桑実寺縁起絵巻は、義晴が滞在中に発願して制作させたもので、絵は京都の絵師土佐光茂、詞書は後奈良天皇や三条西実隆らがしたためました。義輝の元服の際は、定頼が管領の代わりに加冠役を務めています。

定頼の父の高頼は、第九代将軍義尚(よしひさ)と第十代将軍義材(よしき)の親征（いわゆる六角征伐）を受けたことで有名です。足利将軍家と各地の守護らが勢力争いを繰り広げる中、近江国内の延暦寺や幕府奉公衆らの所領を侵し力を蓄えたことが原因でした。将軍を近江に迎え討っても負けない、軍事力と政治力を誇っていたのが六角氏でした。

展覧会では、このような知られざる六角氏の実力と彼らを取り巻く諸勢力を、残された資料をもとに紹介していきます。

【主な展示資料】

(◉国宝、◎重要文化財、△県指定文化財、□市指定文化財)

足利義政御内書―小笠原文書―
（東京大学史料編纂所蔵）

山法師強訴図屏風（滋賀県立琵琶湖文化館蔵）

足利尊氏画像（京都市天龍寺蔵）

□六角高頼書状―酒人山中文書―（個人蔵）

◎足利義材御判御教書―永源寺文書―
（東近江市永源寺蔵）

◎六角氏奉行人連署奉書―長命寺文書―
（近江八幡市長命寺蔵）

◎桑実寺縁起絵巻（近江八幡市桑實寺蔵）

足利義晴画像―土佐派絵画資料―
（京都芸術大学芸術資料館蔵）

◉足利義晴御判御教書―東寺百合文書―
（京都府立京都学・歴彩館蔵）

光源院殿御元服記（国立公文書館蔵）

万松院殿穴太記（国立公文書館蔵）

証如画像（大阪市定専坊蔵）

山科本願寺旧迹図（大谷大学博物館蔵）

◎六角定頼書状―朽木家文書―（国立公文書館蔵）

六角承禎条書写―春日家文書―（草津市蔵）

※会期中展示替えを行います。詳細は、開幕日以降に博物館ホームページをご確認下さい。

〈記念講演会〉

5月29日(日)

「戦国大名六角氏の史料

―定頼期を中心に―」

講師　村井祐樹氏（東京大学史料編纂所准教授）

※13時30分～15時　当館セミナールーム

参加費500円　定員50名

※往復はがきによる事前申込制

（応募者多数の場合は抽選・応募締切4月30日(土)必着）

※事情により行事内容や日時が変更になることがあります。最新の情報および詳しい申込方法は当館ホームページでご確認下さい。

繖山桑實寺秘仏薬師如来御開扉

縁起絵巻にも描かれた本尊の薬師如来は秘仏で、十二年に一度だけ御開帳されます。今年がその年にあたります。この機会に、ぜひご本尊にも参拝されては如何でしょうか。

4月8日(金)～5月10日(火)

午前9時～午後5時

入山料：大人300円・小人150円

※博物館から本堂まで徒歩25分

収蔵資料紹介

佐々木古城跡繖山観音山画図

江戸時代
紙本著色　縦八五・四㎝、横一二〇・四㎝
個人所蔵、当館収蔵受託

当館の裏山に残る巨大な中世山城である観音寺城跡。近江源氏佐々木氏の嫡流（ちゃくりゅう）であり、鎌倉・室町幕府のもとで近江守護を務めた六角氏が、戦国時代に居城とした城です。今回紹介するのは城下の集落石寺のあるお宅に伝わった「佐々木古城跡」の絵図です。その名のとおり、六角氏在城当時ではなく廃城した城跡が表現されており、江戸時代に作成されたと考えられます。絵の中央に城跡が広がる繖山（きぬがさ）の南斜面が大きく描かれ、左（西）隅には安土山と摠見寺・佐々木社（沙沙貴神社）・浄厳院、下方（南）には中山道と老蘇（おいそ）の森、右下（南東）隅には支城の箕作（みつくり）城跡までが画角におさめられています。

山腹には現在と同じ場所に観音正寺が描かれ、山中各所に石垣と曲輪の存在が描写されています。そして曲輪（くるわ）には「平井加賀守」「池田伊豫守」など家臣の姓と受領名、本丸跡とされている曲輪には「本城」と記されています。その他「役」「閣」「御用」など何を示すのよく分からない記載もあります。

こうした家臣名を付けた曲輪の呼称は、観音寺城内に家臣が集住したことを示し、城内の曲輪群は近世の城下町のような機能を持っていたとも考えられています。ただ、廃城から時間をおいて作られた絵図のこと、ここに記されていることが六角氏在城当時の実態を正しく伝えているかどうかは分かりません。とはいえ、江戸期に作られた中世城郭の絵図としては豊富な情報を伝えています。観音寺城跡を研究するときには何かと参照したくなる絵図です。

県史跡　八幡社古墳群

東近江市の八幡社古墳群は、雪野山古墳（古墳時代前期）が山頂部に築造された雪野山の東麓に所在します。いずれも横穴式石室を内部主体とする、直径6～15m前後の円墳15基、前方後円墳（46号墳）1基が確認され、6世紀中頃から7世紀初めにかけて築造されたことが発掘調査で明らかになっています。

前方後円墳である46号墳は、周濠（しゅうごう）、葺石（ふきいし）、埴輪をもたない全長24mと小型ですが、墳丘の前方部、くびれ部、後円部の三箇所に横穴式石室が築かれています。三基の石室は同時に築かれたものではなく、後円部→前方部→くびれ部の順で6世紀後半から6世紀末の比較的短期間に築造されたと推定されています。

古墳時代後期の古墳群に前方後円墳が含まれる例は県内では知られておらず、この古墳群が地域の首長層の墓域である可能性とともに、古墳時代後期における「前方後円」という古墳の形の持つ意味を考える上でも重要な古墳です。

八幡社古墳群は、「雪野山歴史公園」として整備されており、見学することができます。

雪野山

八幡社古墳群46号墳

博物館の主な催し

春季特別展「戦国時代の近江・京都―六角氏だってすごかった!!―」
4月23日（土）～6月5日（日）

特別陳列　〈望楼下〉
6月7日（火）～7月14日（木）

4月

- 4日（月）　休館日
- 11日（月）　休館日
- 18日（月）　休館日
- 23日（土）　城郭講座①「入門世界遺産」
  講師…細川修平氏（滋賀県彦根城世界遺産登録推進室）〈要予約〉
- 25日（月）　史跡案内①　観音寺城跡〈要予約〉
- 30日（土）　安土城探訪〈要予約〉

5月

- 1日（日）～5日（木・祝）　親子写生大会
- 7日（土）　史跡案内②　桑實寺〈要予約〉
- 9日（月）　休館日
- 14日（土）　連続講座Ⅰ①「近江戦国史概観 ―応仁の乱から安土廃城まで―」
  講師…松下浩氏（滋賀県文化スポーツ部）〈要予約〉
- 16日（月）　休館日
- 21日（土）　城郭講座②「彦根城の価値」
  講師…鈴木達也氏（滋賀県彦根城世界遺産登録推進室）〈要予約〉
- 23日（月）　休館日
- 29日（日）　春季特別展記念講演会「戦国大名六角氏の史料 ―定頼期を中心に―」
  講師…村井祐樹氏（東京大学史料編纂所准教授）〈要予約〉
- 30日（月）　休館日

6月

- 4日（土）　連続講座Ⅰ②「六角氏と観音寺城」
  講師…松下浩氏（滋賀県文化スポーツ部）〈要予約〉
- 6日（月）　休館日
- 11日（日）　城郭講座③「彦根城が語る新しい江戸時代像」
  講師…細川修平氏（滋賀県彦根城世界遺産登録推進室）〈要予約〉
- 13日（月）　休館日
- 19日（日）　入門講座①「大中の湖南遺跡の木製品」
  講師…伊庭功（当館学芸課長）〈要予約〉
- 20日（月）　休館日
- 27日（月）　休館日

令和四年度の催し物

滋賀県立安土城考古博物館では特別展・企画展を開催するほかにも、専門家が考古・歴史資料や歴史的トピックについて解説する講座、モノ作りに挑戦していただく体験イベント、史跡や社寺といった歴史的遺産の現地を訪ねる探訪など、参加して楽しみながら歴史が学べる催し物を今年度も開催いたします。

新型コロナウィルス感染予防には万全を期して開催いたしますが、ご参加いただくみなさまにも手指の消毒・マスクの着用等をお願いします。また、事前申込みのうえご参加いただきますので、あらかじめご了承ください。

講　座：特別展・企画展関連講座、連続講座（二シリーズ）、城郭講座、入門講座

催し物：親子写生大会（五月）、勾玉を作ろう（七月・八月）、子ども考古学教室（八月・三月）、お正月飾りを作ろう（十二月）

歴史探訪：春季・秋季

なお、事情により開催予定が変更になる場合がありますので、最新情報は当館ホームページでご確認ください。

親子写生大会（令和3年5月2日）

勾玉を作ろう（令和3年7月26日）

※博物館関連講座の会場は当館セミナールームです。
※事情により行事内容や日時・講師が変更になることがあります。最新の情報は当館ホームページでご確認ください。
※講座はすべて事前申込制となっております。詳細は、電話でお問い合わせください。なお、当館ホームページおよび講座の広報チラシでもご確認できます。
※滋賀県立安土城考古博物館は公益財団法人滋賀県文化財保護協会が指定管理をしています。

おおてみち　第119号
令和４年（2022年）４月１日発行
編集・発行　滋賀県立安土城考古博物館
〒521-1311　滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 6678　TEL0748-46-2424
E-mail：gakugei@azuchi-museum.or.jp　URL：https://www.azuchi-museum.or.jp